

ベフトップジン[®]フロアブル

(BEFTOPSIN FL)

登録番号 第21860号

種類名 イミノクタジン酢酸塩・チオファネートメチル水和剤
iminocladine triacetate・thiophanate-methyl

殺菌剤分類 M7,1

性状 類白色水和性粘稠懸濁液体

有効年限 4年

有効成分 イミノクタジン酢酸塩 15.7%、チオファネートメチル 26.2%

P R T R チオファネートメチル(PRTR・1種) 26.2%

毒性 医薬用外劇物

包装 500ml×20本、1ℓ×12本(北海道限定)、5ℓ×4本(北海道限定)

■特 長

- 幅広い殺菌スペクトラムにより、かんきつの貯蔵病害（緑かび病・青かび病・軸腐病等）に優れた効果を発揮します。
- 小麦の赤かび病の主要病原菌であるフザリウムグラミニアラムやマイクロドキウムニバーレ等に安定した効果を示します。
- 浸透性が高いトップジン M に加えて、保護殺菌効果が強いベフランが含まれているため、予防・治療効果に優れ、また効果が持続します。
- 系統の異なる2つの有効成分を含むため、耐性菌マネジメントに有効です。

■適用病害名及び使用方法

(2022年2月9日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法
小麦	赤かび病	8	0.8	収穫14日前まで	3回以内 出穂期以降は 1回以内	4回以内 種子への処理は1回以内、 散布及び無人航空機 散布は合計3回以内 出穂期以降は1回以内	4回以内 種子への処理は1回以内、 散布及び無人航空機 散布は合計3回以内 出穂期以降は2回以内	無人航空機による散布
	うどんこ病 葉枯症 赤さび病	800～1,000	25					
	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病	750～1,000	60～180	根雪前				
麦類 (小麦を除く)	赤かび病	1,000		収穫14日前まで	2回以内 出穂期以降は 1回以内	3回以内 種子への処理は1回以内、 散布は2回以内、 出穂期以降は1回以内	3回以内 種子への処理は1回以内、 出穂期以降は1回以内	散布
みかん	貯蔵病害 青かび病 緑かび病 軸腐病 こうじかび病 黒腐病 炭疽病	1,500	200～700	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	8回以内 塗布は3回以内 散布、空中散布及び無人航空機 散布は合計5回以内	無人航空機による散布
		25	8					
かんきつ (みかんを除く)	白かび病 すす斑病 黒斑病	1,500	200～700	収穫前日まで	2回以内	2回以内	8回以内 塗布は3回以内、 散布及び無人航空機散布 は合計5回以内	散布

△ 効果・薬害などの注意 

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 使用に際しては、容器をよく振ってください。
3. 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
4. ボルドー液とは沈殿を生じるので混用しないでください。塩化銅等の無機銅剤との混用はさけてください。
5. 日本なし、もも、うめ等の果樹、稲、きゅうり、あぶらな科作物、豆類には、葉に薬害を生じることがあるので、かからないように注意して散布してください。
6. かんきつの施設栽培で果実の着色終了前に使用する場合、果実に着色むらを生じるおそれがあるので、降雨時等の極端な多湿条件下での散布はさけてください。
7. 蚕に対して毒性があるので、桑にはかからないように注意して散布してください。
8. 無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - (1) 散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - (2) 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - (3) 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
9. 本剤を希釈倍数 250 倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を用いて均一に散布してください。
10. 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意    

11. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
12. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
13. 皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
14. 散布液調製時及び散布の際は保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
15. 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。
16. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物への影響：水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器・空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

-
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
 - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
 - 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。